

ビジネス基礎 黒板事例

経済活動の基本的な考え方

目標：経済活動の内容やしくみを理解し、日常生活における判断や行動に活用できる

2 商品を生産してビジネスを行う上で、必要なもの

<生産要素>限りがあり、無限にあるわけではない

- (1) 土地 (例) 土地, 天然資源など
- (2) 資本 (例) 工場, 部品, 機械など
- (3) 労働力 (例) 従業員, 経営者などの人材

上記のものは,

<希少性>人の欲望に対して、生産要素(資源)が十分でないこと

- ・希少性が高いと価格は高くなる
- ・希少性が低いものは価格が安いか、価格がつかない

無限の欲望に対して、有限の生産要素をどう使うかを考えることが、経済活動を考える出発点

3 ビジネスは選択の連続

生産要素が希少なため、企業は選択をしなければならない。

<トレード・オフ>

何かを選択することで、別の何かをあきらめなければいけない状態

(例) タクシーか、バスか

<機会費用>

トレード・オフのときにあきらめた方から得られたであろう価値

(例) バスを選ぶことにより、800円得られる。

タクシーを選ぶことにより、1時間(時給1,500円)得られる。

このとき、タクシーと決めたら、機会費用は、700円となる。

ビジネスでは、より損失が少なくなる「合理的な選択」をし続けることが必要

観光ビジネス 黒板事例

「私たちが住む地域の観光資源を発見しよう」

大切にしたいもの

私たちが住む地域の文化や観光資源、サービスなどでこれからも残していきたい、大切にしたいものはなんでしょう。各班で話し合っ付箋1枚に1つのテーマを記入して話し合しましょう。各班で出たテーマを全体で共有しましょう。

- 大切にしたい文化
- 知ってもらいたい観光資源
- 目に見えない強み

これからの課題

私たちが住む地域の文化や観光資源、サービスなどを大切にしていくために、改善したいことはなんでしょう。各班で話し合っ付箋1枚に1つのテーマを記入して話し合しましょう。各班で出たテーマを全体で共有しましょう。

- 文化が持つ課題はなんでしょう？
- 観光資源を取り巻く課題はなんでしょう？
- その他気がついたことは？

やってみたいこと

私たちが住む地域の文化や観光資源、サービスなどをより多くの人たちに知ってもらうために、チャレンジしたいことはなんでしょう。各班で話し合っ付箋1枚に1つのテーマを記入して話し合しましょう。各班で出たテーマを全体で共有しましょう。

- やってみたい、チャレンジしたいことは？
- その他の課題は？
- 課題を解決するアイデアは？

グローバル経済 黒板事例

第〇章 経済成長と景気循環

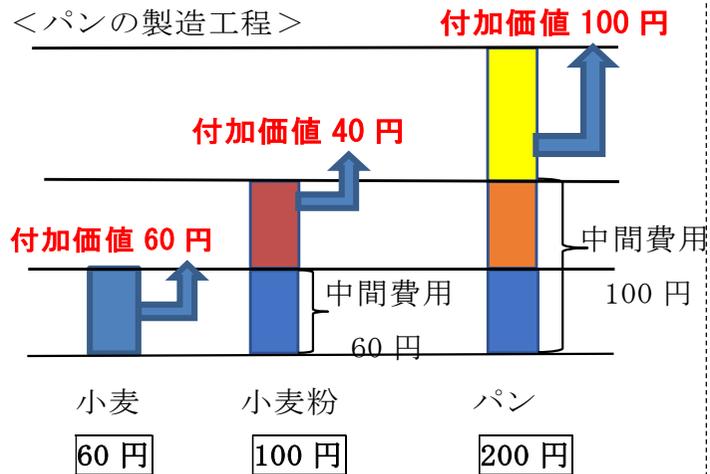
1節 GDP (国内総生産)

(1) 付加価値とGDP

マクロ経済
・ 1国全体の経済活動に着目

ミクロ経済
・ 個別の経済主体
(家計・企業・政府)
の経済活動に着目

- ・ マクロ経済の活発さを表す指標 ⇒ **GDP**
(1国内で一定期間中に生み出された付加価値の合計をいう)



**GDPは、付加価値の合計であり、最終生産物
(60円+40円+100円=200円)
(パン=200円)の生産額でもある。**

(2) 日本のGDP

- ・ 人口が多ければ、国のGDPは高くなる。
国民一人当たりのGDP ⇒ **日本は高水準**
- ・ 産業別で見ると
第一次産業は、急激低下
第三次産業は、約6割を占める。
⇒ **比重上昇**

第〇編第〇章 損益計算書の作成

付記事項

①仮受金 ¥200,000は、東京商店に対する売掛金の回収額であることが判明した。

(借) 仮受金 200,000 (貸) 売掛金 200,000

②千葉商店に対する買掛金 ¥250,000を期日前に支払い、契約によって2%の割引を受け、割引額を差し引いた金額は小切手を振り出して支払ったが、未記帳であった。

(借) 買掛金 250,000 (貸) 当座預金 245,000
仕入割引 5,000

決算整理事項

期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 1,400個 原 価@ ¥4,400
実地棚卸数量 1,300個 正味売却価額@ ¥4,200
ただし、棚卸減耗費および商品評価損は売上原価の内訳項目とする。

(借) 仕 入 5,780,000 (貸) 繰越商品 5,780,000
(借) 繰越商品 6,160,000 (貸) 仕 入 6,160,000

帳簿棚卸数量1,400個 × 原価@ ¥4,400

(借) 棚卸減耗損 440,000 (貸) 繰越商品 700,000
商品評価損 260,000

棚卸減耗損 (1,400個-実地棚卸数量1,300個) × @¥4,400
商品評価損 (@¥4,400-正味売却@¥4,200) × 1,300個

(借) 仕 入 700,000 (貸) 棚卸減耗損 440,000
商品評価損 260,000

第〇章 ハードウェアとソフトウェア

1. ハードウェア

- ・コンピュータはどのような部品から構成されているのか？
- ・コンピュータの内部はどのようなになっているのか？

2. コンピュータのしくみ

- ・五大装置
 - 入力装置
 - 記憶装置
 - 制御装置
 - 演算装置
 - 出力装置

周辺装置

中央処理装置 (CPU)
この2つの装置は1つにまとめられている→プロセッサ
小型演算処理装置 (MPU)

同じ意味

3. 情報の表現

1. 数値の表現

- ・2進数 0と1で表現 (OFFとON)

2進数1桁 □ (ビット)

2進数8桁 □□□□□□□□ (8ビット (b)=1バイト (B)=1文字を表現できる)

例 0 0 0 0 0 0 1 1 → +3のこと

・基数変換

10進数から2進数への変換…2で割った余りを並べる

例 10進数11を2進数に変換

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 11} \\ \underline{2} \\ 9 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 5 \dots 1} \\ \underline{4} \\ 1 \end{array} \quad 11 (10進数) \rightarrow 00001011 (2進数)$$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 2 \dots 1} \\ \underline{2} \\ 0 \end{array}$$

$$1 \dots 0$$

※1が立つまで割り続け下から上に繋げる

2進数から10進数への変換

…2進数の各けたに重みをかけ、結果を加算する

例 2進数00001011を10進数に変換

$$0 \ 0 \ 0 \ 0 \ 1 \ 0 \ 1 \ 1$$

$$\times \times \times \times \times \times \times \times$$

$$\begin{array}{r} 2^7 \ 2^6 \ 2^5 \ 2^4 \ 2^3 \ 2^2 \ 2^1 \ 2^0 \\ \hline 0+0+0+0+8+0+2+1 \rightarrow 11 \end{array}$$

$$0+0+0+0+8+0+2+1 \rightarrow 11$$

$$00001011 (2進数) \rightarrow 11 (10進数)$$

- ・記憶容量 (約1000倍ごとに単位が変わり、容量が大きくなる ※正確には1024倍)

$$1000 \text{ バイト (B)} = 1 \text{ キロバイト (KB)}$$

$$1000 \text{ キロバイト (KB)} = 1 \text{ メガバイト (MB)}$$

$$1000 \text{ メガバイト (MB)} = 1 \text{ ギガバイト (GB)}$$

$$1000 \text{ ギガバイト (GB)} = 1 \text{ テラバイト (TB)}$$

$$1000 \text{ テラバイト (TB)} = 1 \text{ ペタバイト (PB)}$$

- ・処理時間 (1000分の1ごとに単位が変わり、時間が速くなる)

$$1 \text{ 秒 (s)} \text{ の } 1/1000 = 1 \text{ ミリ秒 (ms)}$$

$$1 \text{ ミリ秒 (ms)} \text{ の } 1/1000 = 1 \text{ マイクロ秒 } (\mu\text{s})$$

$$1 \text{ マイクロ秒 } (\mu\text{s}) \text{ の } 1/1000 = 1 \text{ ナノ秒 (ns)}$$

$$1 \text{ ナノ秒 (ns)} \text{ の } 1/1000 = 1 \text{ ピコ秒 (ps)}$$

$$1 \text{ ピコ秒 (ps)} \text{ の } 1/1000 = 1 \text{ フェムト秒 (fs)}$$

- ・文字コード

ASCII

JIS

Shift-JIS

EUC

Unicode

UTF-8 など

総合実践 黒板事例

演習 7

本時の目標

利益を見通し販売価格を決定する

【参考例：野球グローブ】

Q 1 在庫量は？

A. 90個 (p71)

Q 2 出荷量は？

A. 60個

Q 3 払い出し金額は？

A. $14,000円 \times 40個 + 14,500円 \times 20個$
 $= 850,000円$ (p71)

Q 4 販売費及び一般管理費は？

A. 12,000円 (p82)

【演習 7：テニスラケット】

Q 1 在庫量は？

Q 2 出荷量は？

Q 3 払い出し金額は？

Q 4 販売費及び一般管理費は？

Q 5 販売価格はいくりにすべきか？

ビジネス・コミュニケーション 黒板事例

応対に関するビジネスマナー「挨拶」

目標：挨拶の必要性、お辞儀、表情などがあり、自分から積極的に行う大切さについて学ぶ。

1 自己紹介してみよう

<感想>

(2) 相づちをうちながら、しっかりした態度で聞く
(生徒の意見)

(3) 目を合わせず、つまらなそうな態度で聞く
(生徒の意見)

2 お辞儀

(1) 基本

正しい姿勢で立つ → 相手の目を見て挨拶ことば → 腰から倒す
→ 一度動作を止める → 上体をゆっくり上げる
→ 視線を相手の目に戻す

(2) 使い分け

	傾き、視線	場面	ことば
会釈	15°、3m先	すれ違ったとき、エレベータの中	失礼いたします
普通礼	30°、1.5m先	受付、一般的な場面	いらっしゃいませ
最敬礼	45°、1m先	感謝、おわび、見送り	ありがとうございます

3 接客七大用語を用いて挨拶しましょう

- (1) いらっしゃいませ (おはようございます、こんにちは)
- (2) かしこまりました
- (3) 恐れ入りますが
- (4) 少しお待ちくださいませ
- (5) 大変お待たせいたしました
- (6) 申し訳ございません
- (7) ありがとうございました

ビジネス法規 黒板事例

○章 - 1 権利・義務とその主体

(1) 権利と義務

権利

- ・他人にある行為を求めるとや自分がある行為をすることが出来る資格

義務

- ・他人に対してある行為をしなければならぬ法律上の拘束

- 私たちの社会生活は、権利と義務の関係により成り立っている。 ⇒ **法律関係**

* 社会生活が正しく営まれるためには・・・

権利者の無制限な権利行使は **×**
⇒ **権利の濫用**

権利の行使には・・・

- ・ **公共の福祉に反しない** こと
- ・ **信義に従う** こと
- ・ **誠実に権利を行使する** こと

(2) 権利・義務の主体

- ・ 社会生活で権利や義務を負う者
⇒ **権利・義務の主体**

- ・ 権利・義務の主体となる資格 ⇒ **権利能力**

- ・ 私たち個人・個人 ⇒ **自然人**
- ・ 会社・協同組合など ⇒ **法人**